

I 知床のガードレール雪かきプラス！ ～真冬の避難・命を守るまちづくり～



しれとこ・ウトロフォーラム21 / 北海道開発局 網走開発建設部 北海道 斜里町

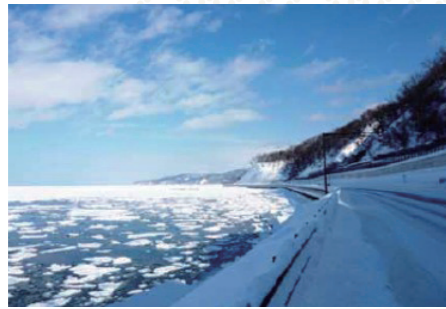
1 社会資本の概要

国道334号は、平成17年に登録された知床世界自然遺産地域を通過する道路であり、沿道にはオホーツク海や知床連山の麓に広がる森をはじめ優れた自然景観を有しています。

国道の北西側に面しているオホーツク海には流水が接岸するため、北海道の中でも希少で幻想的

な流水景観を楽しめます。

国道334号は網走方面から斜里町ウトロ地区へ通じる唯一のアクセス道路となることから、知床世界自然遺産を訪れる年間およそ120万人の観光客はもとより、地域住民の日常生活を支えるためにも欠かせない重要な道路です。



国道334号沿道のオホーツク海
冬期には流水が接岸



道路沿いガードレール部分を
除雪している様子

2 取組の背景、取組概要と創意・工夫

国道334号は、網走方面から知床へ通じる唯一のアクセス道路であり、特に冬期間は道路管理者の除雪による交通確保が重要となりますが、除雪後にできる雪壁によって冬の知床を代表する観光資源である流水景観が走行中に見えなくなってしまうことが悩みでした。

そこで、地域の方々に除雪ボランティアを呼びかけ、斜里町ウトロ地区の流水接岸時期であり冬期

来訪者のピークを迎える2月上旬に雪壁の除雪を行い、沿道景観の魅力を向上させています。

体験要望のある観光客にはスコップ等を貸与し、誰もが気軽に参加できる環境を整えており、近年は、冬期避難訓練とあわせて実施し、地域の冬の災害に対する備えにも貢献しています。



除雪前(左側)と
除雪後(右側)の流水景観



雪かき後の避難訓練状況



避難訓練後の地区防災計画
意見交換会の様子

3 活動の成果や波及効果等

流水景観が見えるよう地域主体で取り組む一体感や満足感を通じて、道路は地域のものとして「大切に維持し価値を高めよう」という意識が広がっています。また、SNSなどでの開催・参加の声かけによる参加者が増加しており、綺麗な流水景観を楽しみ写真撮影する来訪者の光景も多く見られるようになりました。

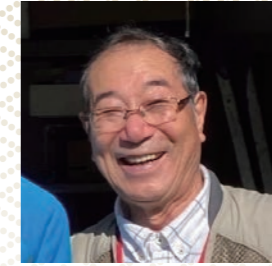


流水が見えるようになった海を背景に
雪かき参加者で集合写真撮影

4 前回受賞時からの活動の発展内容

自然に恵まれた地域ならではの自然災害への不安を抱えてきたなかで、地域の住民や企業、観光客など多くの参加者が集まる雪かき活動と避難訓練や炊き出しを連携して実施する取り組みを始めました。冬期避難の難しさを多くの参加者に体感してもらうほか、浮かび上がった課題を解決していくなどして斜里町ウトロ地区の命を守るまちづくりに寄与しています。

喜びの声



受賞者
しれとこ・ウトロフォーラム21
会長
松本 鉄男

コメント

この度は、前回の受賞に続き、大賞をいただきました。地域の活動が、大きく評価されて大変嬉しく思っています。

私たちは、知床ウトロに誇りを持っています。景観だけでなく、この地域の人を含めた良さを、多くの方に知ってもらえれば、最高に嬉しいことです。

無理することなく、できる範囲でこれらも取り組んで行きます。ありがとうございます。

活動の内容

- 除雪ボランティア、花植えボランティア、マルシェ、冬期避難訓練 など

活動の経歴

- 平成9年 フォーラム21設立
まちづくり活動開始
- 平成19年 花植えボランティア開始
ガードレール雪かき開始
- 平成27年 手づくり郷土賞(一般部門)受賞
- 令和元年 冬期避難訓練開始

所在地 北海道斜里郡斜里町ウトロ西～ウトロ東

活動主体及び連絡先 活動主体及び連絡先:しれとこ・ウトロフォーラム21
TEL:0152-24-2826

対象となる社会資本 国道334号
※管理者:国土交通省北海道開発局
網走開発建設部

